

## ウイルスとビールス

「こないだの休みの日はどうだった？」

「まあ、やたらウロウロ出歩くわけにも  
いかないからさ、動画で『バビル2世』見  
てたよ」

「思いっきり昭和だね」

「そしたらさ、“宇宙ビールス”っていうの  
が出てきたんだよな。ビールスって知って  
る？ ビールの複数形じゃないぜ」

「それくらい知ってるよー。ウイルスのこ  
とでしょ」

「でさ、もう気になって気になって、virus  
は英語では [ヴァイラス] じゃん？ なんだよ  
ビールスって、で、なんだよウイルスって」

「やば、また始まった。」

「はい、調べた結果をまとめてみました。  
画面共有するわ。まず、昔の医学用語はド  
イツ語からのものが多かったのよ。カルテ  
(Karte)とか、アレルギー (Allergie)とか。  
これさ、もし英語から入ってたら、カード  
(card)とかアラジー (allergy) だったはず  
だよな」

「そうねー」

もうすこし話に付き合うか。わたしたち  
のソーシャルなディスタンス。

「で、ドイツ語のVirusの発音が [ヴィー  
ルス] なんだけども、これを取り入れたの  
が、ビールス。外国語の [ヴィ] の音は外

来語として日本語に入るとふつう [ビ] っ  
て発音するから、ビールスになったわけ。あ、  
カメラオフしないように。こっからが重要」  
缶チューハイ取ってこよっと。

「でな、一方のウイルスは、ラテン語 virus  
から。[ウィールス] みたいな音らしいけど  
も、英語の [ウィスキー] が「ウィスキー」に  
なったりすんのと同じだな」

「なんで今はビールスじゃなくてウイルス  
を使ってんの？」

見つめるモニター越し。

「戦後しばらくは、専門家はウイルスが多  
くて、マスコミとか教科書はビールスが多  
いっていう状況が続いてたんだけどね、専  
門家の言い方にそろえようってことで、NHK  
でも放送用語委員会っていうところで1976  
年に [①ウイルス ②ビールス] って改訂して  
るらしくてさ、……」

「リモートだとさ、画面は共有できても、  
おつまみは共有できないよね」

さんざんな一年だったね。でも、きつと  
もうすぐだよ。そのときはさ、口笛とか吹  
いちゃおうよ。マスク外して。ほら、また  
くだらない話しておなか抱えて笑ったり、  
どうでもいい口げんかしたりしてさ。マイ  
ダーリン。

作：塩田雄大 (しおだ たけひろ)